

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向け取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	職員を育てる取り組みを広げていく	福祉職員としての知識と技術の質向上を図る	法人内外の研修だけでなく、更にプリセプターシップの学習を取り入れる。新人職員は業務の中でプリセプターとして学び、経験3～5年の職員はプリセプティィーとして新人職員へ指導、助言することを学んでいく体制作りをグループホーム独自の項目内容を作成する。	2ヶ月
2	48	一人ひとりの経験や知恵、得意分野を広げる	地域文化祭に向けて、共同作品作りし共に喜ぶ	利用者一人ひとりが自分の出来る分野で一つの作品を皆で協力し完成させていく。利用者のペースに合わせて満足感がえられるように時間をかけて作品づくりを行なう。作品出品は地域参加となり、文化祭見学にも行く。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。